

地方大会での決定事項など

地方本部役員

執行委員長

大沼 元

執行副委員長

中島 利彦
歌川 弘

書記長

五十嵐 敬

執行委員

曾我 浩之
武田 昌仙
佐藤 勝

宮 城

福 島 城

福 島

宮 山 宮 城
城 形 城

会計監査員

千葉 弘
原子 清貴

宮 城
仙 総

千葉 祐悦
新田 順一
児山章二(新)

宮 城
自動車
福 島

婦人部長

真砂 久子

宮 城

特別執行委員

岩井 幸二
秋山 正浩
小檜山広幸
原田好太郎
橋本 守弘
佐藤 浩二
庄司 修

貨 物
宮 城
福 島
山 形
郡 工
自 動 車
仙 総



優良機関紙表彰された機関代表者のみなさん

メッセージ紹介

【敬称略】

☆宮城県交運労協

鈴木 巖

☆盛岡地本

齋藤 庄司

☆高崎地本

須藤 光夫

☆千葉地本

小林 春彦

☆新潟地本

関川 和彦

☆水戸地本

大和田 享

☆東京地本

鎌田 博一

☆秋田地本

渡邊 敦

地方委員

宮城県支部(8人)

大友 清孝(仙台駅連)
伊藤 純(仙台運輸区)
穴戸 康(仙台保線区)
渥美 健一(仙台信通区)

福島県支部(4人)

山田 明彦(福島地区)
高橋 寛(若松地区)
佐藤 正彦(郡山駅連)
村田与志一(福島建築)

菊田 優(東工所)
長谷川義浩(貨物宮城)
古川 壽彦(仙台電車区)
佐藤 春男(小牛田運輸区)

橋本 光一(車体科)
仙台総合車両支部(3人)
小松 知喜(車体)
高橋 進(台車)
森本 重隆(台車)

東北自動車支部(1人)

岩崎 宏(青森県)
山形県支部(1人)
菅野 聡(米沢連合)

郡山工場支部(1人)

レポート 原水禁世界大会

脱原発の決意改めて

8月4日から6日まで
の原水禁世界大会に福島
県平和フォーラム45名の
仲間と参加した。新幹線
で降り立った広島駅前
は、如だるように暑く、原子
爆弾が投下された日もこ
の様な状況だったのかと
思いつつ、4日は「被爆
67周年原水禁広島大会開
会集会」や「核兵器廃絶
2012平和広島大会」
に参加。

社の実態が全く変わって
いない深刻な事態にある
こと。自然は変わらない
し、自然と共存できない
原発がある限り人災は避
けて通れず、止めるしか
ないことを学んだ。

また、「東海原発が停
止した直後から派遣社員
の雇用打ち切りによる相
談増」「廃炉の場合、地
元の雇用を考慮すればそ
れでいいのか」という、
東海原発を抱える自治体
労働者の思い悩む実態を
踏まえつつ、それでも脱
原発を実現する強い決断
と生活水準を落とす覚悟
が原水禁運動に求められ
ていることを強く実感し
た。

8月6日、平和記念式
典における野田総理の挨拶は空疎な言葉に終止し、

5日は分散会「脱原子
力―地震と原発そして再
稼働問題」に参加し大阪
府立大学名誉教授の長沢
啓行氏の講演を受けた。
そこでは「地震国日本
に54基もの原発があるこ
と事態が間違いであるこ
と。過小評価した地震動
や津波。これらを配慮し
ない原子力ムラや電力会

また広島市が高齢化す
る被爆者の現状を憂い、
被爆体験伝承者の育成に
取り組み始めた話は、
「原子爆弾の核被害だけ
でなく、戦争の実態や戦
争にいたる道筋の真実を
みつめ反省することこそ
歴史が示す教訓に学ぶこ
と」の実践であり「ヒロ
シマ」であることへの誇
りと平和教育が根付いて
いる独特の風土が伝わっ
てきた。

平和記念式典終了後、広島
平和記念資料館を拝観。

8月2日付
大友 喜代巳さん
東北ロジ東仙台
8月2日付
小林 重夫さん
会津若松地区
(保線)退職

8月31日付
渡辺 喜保さん
郡総車体科 退職

長い間お疲れ様でした



第十二回 皇居マラソン



日時
11月10日(土) 11時

場所
桜田門外「時計台」
前集合

参加申し込みは地本
まで!

退職のお知らせ

7月31日付

石川 照二さん
東北バス盛岡
退職

エルダー退職

相沢 信昭さん
テクノ小牛田

大友 喜代巳さん
東北ロジ東仙台

8月2日付

小林 重夫さん
会津若松地区
(保線)退職

8月31日付

渡辺 喜保さん
郡総車体科 退職